

2020年（令和2年）6月30日

創立記念日にあたって

学校法人スコール
盛岡スコール高等学校
理事長 大津 至久
校長 及川 求

来る7月1日（水曜日）は、本校の87回目の創立記念日にあたります。

例年、本校では、この日に合わせてさまざまな記念行事を企画・実行しており、昨年度は、本校の校歌の作詞・作曲者でもある沢知恵さんをお招きした芸術鑑賞会（歌とピアノのコンサート）を実施したほか、創立記念日の特別礼拝として、本校調理選択の男子一回生で、現在は仙台市内の会席料亭で料理長として活躍中の遠藤紘治さんによる講話をお聞きしました。

実は今年も、現在静岡県在住の、飯島敏子さんという方の講演会を企画していたのですが、昨年度末からの新型コロナウイルスの影響を受け、残念ながら「中止」という選択を行わざるを得ませんでした。

飯島さんは、昭和42年度に本校（当時は向中野学園）の生活科を卒業された先輩で、この学校で染織の楽しさと素晴らしさに出会い、卒業後もその道を究め、プロの道を歩み続けて来られた方です。今では海外にも知られる染織作家となり、平成12年度には内閣総理大臣賞の受賞という、すばらしい経歴の持ち主でもいらっしゃいます。

講演が実現していれば、高校生の頃の学校生活や寮生活の様子、校長の吉田幾世先生や、本校に機織を紹介してくださった及川全三先生との出会いなど、本当に貴重なお話をお聞きできたものと思います。次回の創立記念日とは言わなくとも、コロナ禍収束の折には、ぜひ講演をお願いしたいと思うところです。

◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇-.-◇

このような形で学校生活にさまざまな影を落としている新型コロナウイルスですが、その影響が長引くことは、すでに今年度を迎える前に予想できたこと。……私たちは、「ピンチはチャンス」、「生活即教育の教えを武器にコロナと戦おう」という思いで、この一年をスタートさせました。

今年は世界中・日本中・学校中の誰もが、これまでに経験したことのない困難に直面するだろう。そんな時だからこそ、「上級生と下級生、教員と生徒の間に上下関係がなく、皆が一緒に汗を流す」「一人一人が良さと個性を出し合う」という吉田幾世先生の教えを思い出そう。……今年の創立記念日は、令和2年度がこうして始まった年だったことを思い返す日にしたいと思います。

すでに成果はあがっています。……例えば、6月25、26日に行われたスポーツ大会。周辺の多くの学校は早々に今年度の体育祭の中止を決定しましたが、私たちの学校は、生徒委員会に感染予防策を含む運営の工夫を委ねることで、大会を実行してもらうことを選択しました。

身体接触を避けるための新種目の導入や、3つの密を避ける応援体制づくり。…話し合いや準備はスムーズに進まなかったかもしれない。…当日は雨天となり予定していた事が実行できなかったかもしれない。…しかしこれこそが「生活即教育」が言う「机上の勉強に負けない豊かな経験」ということを、実践を通じて体験することができたのではないのでしょうか。

創立記念日を目前に、そんな頼もしい姿を見せてくれた生徒諸君に感謝したいと思います。